夕刊
磐城新聞
八月九日發行
（日曜祭日翌日休刊）

天氣豫報　小名濱測候所發表
今晩　南東の風晴たり曇勝雨模様
明日　同

八月雜記

山本生

〔下〕

すなはち大きい目標をこころみに掲げるならば窪田先生の古今集、新古今集に於けるが如く、斎藤茂吉氏の人麻呂の歌におけるが如く、太田水穂氏の芭蕉俳諧におけるが如くだ。自分の才やスケールが小さいならば小さいなみに態度は以上の大家が體得したところのものを自分も應じてもなくてはならないのだ。

わたくしは不敏にしてそのことが出來てゐないので古典のもつ魅力に負けてしまつてゐたのだ。だからいつかも告白したごとくわたくしにはこの二年程前までは、自分ではつきり擬古典調の時代と時代遅れの評價をしなければならないものをもつてゐる。

わたくしはあまりにおくれすぎてしまつた。人よりすこし長生きをしなければならないのだ。けれどもわたくしは、世の古典をさげすんでゐて、萬葉集の歌十首もあげ得なかつたり、古今集と新古今集の方が新しいのでせうぐらひしか言へなかつたり、香川景樹といへば昔の人だから、言つたことも、考へたことも古いにちがひないといふ常識だけしか持合はさないやうな田舎宗匠たちよりも數歩先んじてゐることに氣がついた。なぜならわたくしは、これから本當を少しづつでもふみ出せばよいのだ。田舎宗匠たちが古典の上で、その一通りを修めるには數年十數年の歳月を要するのだ。わたくしは邁進する。もつと古典を讀む。ぐんぐん讀んで讀みぬく。それが血となり肉となり得るかまたそのことによつてわたくしの歌に、師のお氣に入るやうな氣品やしらべが、ほんの少しづつでも加へられて行くかは今後の問題であり、それはわたくし一個の問題である

聞水鷄

選　小野蕪子

新樹爵蒼斜日低
釣魚人在斷橋西
隔江何處聲々急
傾聽初知是水鷄

豫告！

次回講談　**振袖横丁**

〔明後十一日から連載御期待を乞ふ〕

8月10日

△井原西鶴歿す（元祿六）△阿蘇山噴火す（嘉永三）△日露の大海戰（明治三七）△日ソ停戰協定成立（昭和一三）

○

海鳴ひし潮の遠鳴りかぞへつゝ少女となりしちゝ母の家　昌子

講談 恩讐無道（おんしゆうむどう）

(174)

久我荘多郎
香川三十代藏

人の巻（十五）

『わッ、深見の旦那に？』

『さうだ。わしが惡ければ素直に詫びる。それをすることを、避けるわしではない』

やつぱり、昔の侍らしい率直なものを、忘れずに持つてゐる專藏だつた。

が、會つてどうならうか――といふ心が、湧かないものでもない

會つて、二人の語るところが事實だとしたら、四年間の長い憎惡は、どうなるであらう？

おのれといふ人間が、あまりに慘めすぎはしないだらうか？

そんなことを考へて、ゆうべコッソリと立つた、惣介の家の前へ來た。

『あ』

庄太郎が思ひ出した。

『旦那でござんしたね。ゆうべ、こゝに立つていらつしやつたのは……？』

『うむ』

と、重く頷くのを見て、茅江と庄太郎は、思はず顏を見合して、知らず識らずに、意味のない溜息を漏らしてゐる。

家には、もう惣介が歸つてゐた。金四郎も。

『おゝツ！』

男たちは顏を見合すと、しばし聲もなく、たがひに手を執り合ふのだつた。

惣介の目の色を見ると、いまは何も聞く要はなかつた。專藏に、何も彼もがハッキリわかつた。

『惣介、すまぬ！』

ひくゝ呻くやうにいふ言葉を、惣介が、昔のまゝのやさしさでくるんだ。

『いつかは、きッと歸つて來てくれると思つてゐた。專藏、よく歸つて來たなあ。これは愚痴だが、ただその歸りの遲かつたことが怨めしい』

『惣介、わしは……わしは……』

と、苦しさうに喘いで、

『かげらふといふ、號なのだ。かげらふの名に隱れて……』

『何もいふな。專藏、もう何もいふことはないのだ。みんな、知つてゐる』

『縛つてくれ。お前の手でわしを縛つてくれ』

『……』

心打たれて、惣介はハッとした

忘れてゐたのだ。征惡の使徒であるといふおのれの天職を……。

考へるまでもなく、友情をあたため合ふ喜びもわづかに、自分たちを襲ふかな[illegible]運命にあつたのだ。

『……せめてものなぐさめなのだ。お前に縛つてもらふといふことは、わしのあやまつた憎惡のつぐなひにもなる』

『急ぐまいぞ、專藏』

と、惣介は抑へて、

『まだ知るまいが、お藥といふ女は、毒をあふつた』

『えッ？』

『結局は、あの女も、至純な心を持つてゐたのだ。いや、誰もの性は、やはり善だつたのだ』

『さうか。あいつが……』

と、憮然となる專藏に

『私情としては忍び難いが法はまげられない。夜が明けたなら、君を引立てゝ行かう。だから、今夜は、みんなで可愛哀なお藥の追善を、してやらうではないか』

『かたじけない！』

專藏は、默々と捻へてゐる金四郎を見て、

『金さん』

と呼びかけた。

『馬鹿な男が、ひとり消える。わしといふ人間は、上野の山で死んで居ればよかつたのだ』

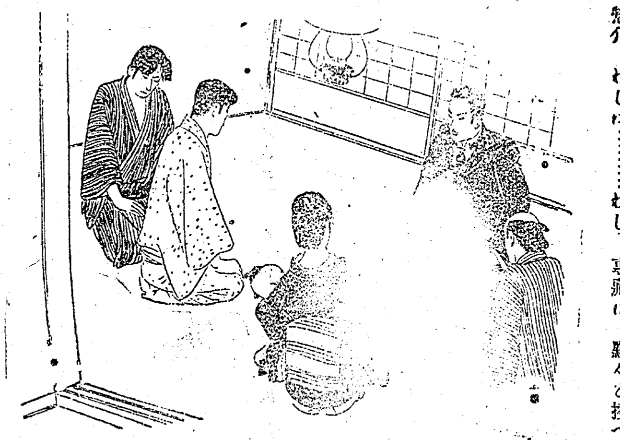
『御門さん。わしも一緒に行く』

と、金四郎が

『深見さんに縛られて、わしも罪の償ひをしに行くのだ』

『馬鹿をいつてはいけない君の罪科は、何だ？賭博兇状か。そんなことを名乗り立てずに、この先まじめに暮してくれ』

さういつてゐる時、ガラッと表が開いた。



歸省雜吟（上）

上田冷人

○照り若葉騒波してはびこれり目に近き岡汽車は走れる
○海明り沖よりみちてどどろうつ潮騒突きて鰯舟二艘
○海つもの香を嗜むとあけくれのしじさわびしき都の人に
○潟の海や午後の照り映ゆきらきらし艀舟ところ騒波とばす

職工及見習工募集
平市月見町
合資會社 佐藤鐵工所
電話三六二番

田邊先生書會
今般中央洋書壇の中堅作家田邊喜規先生が當地山崎與三郎、富澤英雄等に縁故あるを幸とし當地に來遊せられたき希望を洩らされたるを以て之を好機とし同先生の至藝を鑑賞し併せてさゝやかながら書會を開催致度計畫致候同好各位の御贊同を得ば幸甚とする處に有之候
尚田邊先生は收入の一部を國防獻金せらるゝ趣を言明せられ候
追而十二、十三、十四の三日間マルトモホールに於て展覽會を開催致可候間御清鑑願上候
田邊喜規先生後援書會
發起人
青沼銘太郎　木村淳　遠沼龍輔
阿部政右衛門　佐藤庄太郎　古川傳一
小野晋平　鈴木大藏　松本一郎
織田豊太郎　關内正一　諸橋久太郎
金成通　富澤英雄　山崎與三郎
柏原幸次郎　野崎滿藏　柴田德二
木村清治　澁崎善三郎
事務所　マルトモ書店　電話一二四番 二三四番

新盆の戒名入提灯
例年ノ通リ御安く御注文に應じます
戰歿勇士の戒名入り御靈燈は特に御安く致します
弊店の提灯は……體裁が良くて値段の最も安い事は自分の製造仕上げをする事と場所が不便の爲で有ります
平市搔槌小路
金子提灯店

祖先崇拜は家庭繁榮の礎
佛壇、塗位牌、佛金具類
豐富に取揃へてあります
値段ばかり安くても品質粗末では勉强でありません。
安いだけでは店はハヤラヌ
平市四丁目局向通り
山光堂 佛具造花 問屋
電話五五〇番

盆の御用意は是非當店へ！
四ツ倉支店 博善社
木戸支店 榮玉堂
造花店

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

署中御伺申上候
實株ハ買ツテ御手元へ必ズ儲カル優良株
投資指針
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話一九一

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2）西村藥局（電3）

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町三六
鑑定項目
名前のみて一代の運命……何んでもわかる
體力　肉体（健康、不健康、相貌）疾病（病根病勢、病名）に關する一切
活動　職業天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功、炎厄）に關する一切
血縁　家族運（父母の縁、夫婦の縁、子供の縁）有無　男女縁（氣質、相性、相尅、婚期方位に關する一切）
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

故障の起らぬ
原口のラヂオ
特典
電灯屋内配線無料
聽取申込料無◇
受信機試驗料無料
期間六月一日ヨリ七月卅一日マデ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
最新型フォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
洋和結髪　オゾン美顔術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髪洗毛
美爪術
電話 六七八營業所 五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

銃後の皆様におすゝめする
（糸イラズ）
綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れたる足袋、靴下メリヤス、ジヤケツ、其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。男子の方や御子樣方でも容易に修繕出來まして糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。
（定價二十錢 三十錢）
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

磐城の御みやげ品
名物 **靈峰（みやま）羊かん**（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
製造發賣元
小川郷驛前
平屋賣店

七月新譜中
街に野に山に
愛國流行歌
大平洋行進曲
大日本傷痍軍人の歌
荒鷲の歌
流行歌
日の丸馬車
廣東ブルース
雨の上海
港シャンソン
浪花節
婦人後軍歌　米名
清水港　虎造
洋樂名曲お知らせ
コロムビアーレコード
懐しの名曲集　拾參圓二十
ワルツ集　四圓九十五錢
ハワイアンアルバム
ビクターレコード　四圓九十五錢
愛好家協會豫約募集
シユーマンウアイオリ協奏曲　毎月參圓參拾錢　拾參圓四十八錢
ベートーベン第一交響曲　拾參圓四拾八錢
テレフンケレコード
ウインナワルツ集　拾壹圓
ビクター
コロムビア　ラヂオ特約店
金光堂時計店
平市五丁目　電話一九五番

新令で再現される坑內の夫婦共稼ぎ
けふ勞務補充策決定

軍需インフレに因る石炭の需要殺到は今や完全に『夏枯れ』なる言葉を拂拭し去つて地方大小各炭礦では歷鑛の如き深刻な人不足と闘ひ乍ら各方面の急需に應じつゝあるが近時戰時勞動員の强化に伴ひ男子勞動力の不足を補給する女子勞働力の供給が熱望されるに至つたので厚生省勞働局では今九日第一回勞働局參與會議を開催、薄層、殘炭以外に金屬山及び大手筋の石炭山の炭礦に廿五才以上の女子の入坑を認めることとなつた

即ち礦夫勞役扶助規則の除外例として一定の期限付の省令を近く發布するわけであるが、これにより女子の全面的な炭礦進出が認められると共に最近の重要問題たる炭礦勞務者の不足が大いに緩和されることとなり事變下の勞働行政の一轉換として極めて注目される

因に女子の炭礦作業は人道的、風致上の見地から十六歳未滿の男子と共に礦夫勞役扶助規則により昭和三年以來五ケ年の猶豫期間付で禁止され、たゞ薄層と殘炭作業にのみ例外を認められ目下七千人の女子炭礦夫がこれに從事して居り地方でも一部小炭礦に若干の該當實例があつたが今回新令の實施と共に大炭礦に於ても以前の如く坑內の『夫婦共稼ぎ』が見られる事であらうと

國稅はみな完納

七月賦課した市の國稅は銃後意識を反映して何れも完納といふ近來の好成績、所得稅の一萬七千六百五十七圓四十六錢（七四五名）を筆頭に宅地租六千八百七十四錢、臨時利得稅千三百四十一圓七十一錢、計二萬五千七百九十一錢（二、二六七名）である

洋服屋さん慰安運動

平市洋服商業組合では店員と家族慰安のため約百名が午前八時二十分發で草野驛下車徒步で赤沼海岸に至り運動會等に一日を送る

子寶部隊―十三人みな成人
市內中塩の闘場一家

『生めよ殖せよ』の國策に沿うて大臣賞を約束される子福者一家は昨報國府田、篠原兩家位だと思つたところどうして平窪の中塩には十三人、それが一人も缺けず殆と成人しているといふ芽出度い闘場一家がある、三代吉さん（六九）イサさん（六四）を親として續く部隊左の如く爺さん婆さん可愛い孫の名前すら知らぬのがだいぶあるといふ

長男長多氏（四二）二男和一氏（三七）三男七郎氏（三四）長女キヨさん（四七）二女キクさん（四六）三女サトさん（四三）四女トヨさん（三九）五女チヨさん（三二）四男喜平治氏（四〇）六女ツネさん（三八）五男修一郎氏（三六）六男淳一氏（三四）七男毅氏（三二）

幸運の上に眠るな！
債券當籤番號發表さる

三千圓ラッシュ！國民貯蓄强調時代の人氣に躍る勸業及び貯蓄債券の左記に對する今月當籤番號が發表された

△勸業債券九回　一六回　二一回　二六回　三〇回（以上一等千圓）六七回　七二回　七四回（以上一等二千圓）七六回　同割引六回　同一二回（以上一等三千圓）

△貯蓄債券一回　二回（以上千五百圓）

△復興債券　二回　八回（以上一等三千圓）

平局から買つた多數所持者の內見事幸福を抽き當てた人は無いか？今朝の處同局へは『未だ申し出た人がありません』との事、折柄當つて居ながらうつかりせぬ樣調べて見るが肝要とある

四倉修港費
簡保の融資決定

本年度第三回簡易生命保險積立金貸付仙台簡保局管內分は此程夫々決定したが地方關係は左の如し

四倉町一萬二千百圓（港修築事業）

譽の白襷應召者！
久田君外みなハリキル

國民徵用　初めての令書を受けた『譽の白襷應召者』は地方では市內才槌小路堀い工業勤務久田富雄君外〇名で何れも晴の出發を前にハリ切つてゐる

箱師の余罪

既報、常磐線の箱師―飯野村上荒川生れ當時秋田市堀端町前科八犯草野伊三郎（六〇）は取調べの結果一月以來湯本町三函丸丹百貨店からズボン二着、丸ラ洋品店からワイシャツ、松屋洋品店からバーバリを萬引したこと自白

「みんな元氣です」
京濱地方の輔導を終へ　紹介所の田久さん歸る

平職業紹介所では今春斡旋した就職兒五百餘名の第二回職業輔導上、うち京濱方面關係は田久少年係主任が去る一日から一週間に亘つて夫々職場を歷訪、大いに激勵の上八日歸廳したが『みんな元氣で大へん喜んでゐた』と次の如く語る

――こんどの出張では工場の寄宿舍、浴場等主としてその休養慰安の設備を見に來たが寄宿舍は大體二疊間に一人の割で、衞生方面も行き屆きみんな愉快に働いてゐる樣に見て來た

尙同所では既報勤務時間、報酬、仕事への希望等一人別の調べを一週間內に取纏めて今後の輔導に資する一方早くも明春の準備に着手し今年の成績に徵して大いに國營紹介所の機能を發揮することゝなつた

鐵窓から出動
譽れの高木君

上遠野村高木國雄君―假名―は昨年十一月錦村昭和人絹工場で窃盜を働き懲役一年を言渡されて宮城刑務所に服役中此程出動命令が下つたので實家から歎願の結果刑期三ケ月を殘して假出所を許され勇躍出發した

波間に氣球

八日晝小名濱町埋立海岸の波打ぎわにポッカリと二間大の風船玉が浮んだので見知らぬ漁師連が大騷ぎしたが東京陸軍科學研究所の試驗氣球と判つた、同日江名海岸にも同じものが落ちてこれまた一と騷ぎ

甲種臨海便り（二）
平第一小學校

海は荒海　大波小波
寄せて返して　返して寄せて
岩に碎けて　大空高く
パッと飛び散る　波しぶき
しぶき浴びつゝ　巖に立てば
海國日本　少年男子
躍る血潮は　力となつて
足に腕に　心にみちる

八月八日（火）晴後曇。臨海學校の第一夜が明けた。靜かな朝、五時半起床の約束は皆が起きてしまつたので五時起床に變更する部屋の整理洗面一通り朝の仕事を終へて海へ体操に出かける。通りがかりの人々が僕等の体操を珍らしさうに見物してゐる。体操が終つてしばらく自由に遊ぶ。海は昨日より靜かだがまだ〳〵荒い。朝食後勉强。早く海へ出たくて仕方がない。一時間程してからいよ〳〵用意をして海へ行く、晴れてはゐても雲のかたまりが空一ぱいに廣がつてゐる。僕等は午前は海氣舘の前の方で砂遊びを主として遊んだ。

曇つてゐる割合に人の出は多い。日歸りの人逹は波立藥師の方へ行つた。午後はすつかり曇つて來た。時に日のもれる事はあつても風が寒い。海へ入る事は全く出來ず四時頃まで砂遊びで暮らした、日歸りの人逹も僕等の近くで砂遊びをしてゐた。

宿にかへつてから校長先生始め乙種、日歸りの先生方お友達が澤山寄つて呉れてとても賑やかだつた。

大津から

當地の暑さは十數年來の酷暑と聞く、昨日最高溫度四十度六分（百五度）十四時檢べ（內地の午後二時）逹しました

當所より一路七丁先が英佛租界の大檢問所にして前には强電流を通じたる鐵柵がしかれて有り、此の酷暑の中に檢問に、又步哨に立つて居る皇軍兵隊さんの姿を見た時は實に有難く感じました。

八月一日　鈴木重雄

風害もさる事乍ら雨で發育を促進
果樹園の損害僅少か

十二米餘の風速で荒れた此程の吹き降りが地方一圓に亘り各方面に可なりの損害を與へた旨既報の通であるか、うち好間、赤井、平窪等各主產地の果樹園に在つては目下成熟季に近づきつゝある梨子の掛袋が吹き飛ばされた損、少からぬものある一面長らくの旱天に萎みかけた葉がこの大降りに因つて俄かに活氣つき果實の成育に一大拍車をかけたので、之れが爲の豐收と差引き殆ど損害が無いものと觀らるるばかりか却つて雨の恩惠が大きいではないかとさへ云はれてゐる。即ち過般の風雨は從來乾き切つてた梨園を根底から濕潤ならしめ、豐富な水分と葉の發育に因る酸素吸收面が旺盛となつた等彼此この方面の損害は最初想つた程でもなさそうであると

植田漁組に國庫補助

漁業用共同曳船建造並に授產施設に對する國庫補助は七日決定したが地方では植田漁業組合に對し五百八十圓交附される

勤續吏員表彰
稅務協會で

石城稅務協會では十二日午前九時から小名濱小學校に永年勤續の市町村吏員十名（うち平氏は渡邊源彌、湯淺直一兩氏）を表彰、同日午後から協會を開いて決算等を附議、更に翌十三日は縣稅務出張所で管內市町村に對し稅務關係の指示注意をなす

四倉繭市開場近し
購繭資金十萬圓決定

繭の高値に躍る地方養蠶家待望の四倉市場は來る二十五日から夏秋繭の取引を開始するので石双乾繭組合では例により中央金庫に購繭資金の融通方を申請中此程十萬圓貸付けに決定した旨通知あつた

鄕士の將兵に會ふ
暑熱の中支現地から
八日着航空便　〔13〕　蓮沼龍輔

去る參日杭州を出立し某地の〇〇部隊本部を慰問し〇〇〇〇〇の御紹介にて〇〇〇〇に會見慰問の辭を申上候。〇〇部隊中の河野隊は吾が鄕土將兵編成にて此の將兵慰問方法に關し〇〇部隊〇〇〇〇〇殿に御願申上候處河野隊の現在警備地區は〇〇西北方二十里の地點にして此の中間は匪賊續出し居り現に處によりては一里程の處を百余ケ所も破壞し居る情況にて慰問五名に對し尠くとも〇ケ〇隊以上の護衞なくば絕對行軍不能に付き但し今後十日も經過せば或は〇ケ〇隊位の警衞でも行軍出來る見込に候云々要約せば現地慰問は絕望との御話しで鄕土部隊將兵には一名も會見出來得ず空しく歸り申候。本部附近の僅か數名の將兵面談申込みに對しても實は三日より大〇〇〇〇〇準備中の爲め夫れすら不能と相成申候。從て高橋市議の女婿草野良夫中尉殿も河野隊の爲め遂に面談不能の爲め本人には本部船渡川副官に御願して本部より打送便を以て挨拶狀は差出し置き候も此の內容高橋君に詳細御話し願度

參日杭州行きの列車車掌は平市大工町原田末雄君にして同君も頗る元氣にて大陸に大飛躍中實に愉快を感じ申候、又上海杭州間の王店驛にも平市月見町坂本仲家君勤務し居り何れも面談申候。

五日蘇州方面の某地〇〇部隊を慰問仕候處此の部隊には鄕土出身者皆無との事にて同日上海に歸り本日より鄕土部隊の激戰奮戰の地老陸宅、馬家宅其他數ケ所を二日間の豫定にて戰蹟弔問に廻る豫定にて、勿論五人單獨行動は危險にて何れも護衞兵附きの弔問行動に候。右御案內申上候

八月六日朝

―家庭料理― けふの獻立
平保健所榮養指導員　成田君子

炒り豆腐、胡麻和へ

豆腐	七〇瓦	約五分の一丁
牛蒡	三〇	小半本位
莢菜豆	七〇	七本位
胡麻	五	茶匙一杯
味噌	二〇	五、三匁
油	七	一、九匁
鰹節	二	〇、五匁
計蛋白質	一一、八瓦	

溫量二〇三カロリー

（調理法）豆腐は水を切り牛蒡は笹がきとす、油で牛蒡を炒め豆腐を入れ更に炒め砂糖少々醬油で味をつけ、最後に鰹節を加へる。莢菜豆はざつと鹽茹として胡麻は炒りよく摺り味噌、砂糖で調味し莢菜豆を和へる。

磐中同窓會

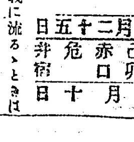
磐城中學同窓會を十日午後一時から母校講堂に開く

平市慶弔錄

▲死亡　杉平九萱野光子さん（二）、本籍長橋町双葉郡浪江町松田邦子さん（二）、本籍四波內鄉村白水下藤七五三吉氏（三九）

十日

【小名濱測候所觀測】
滿潮　前一一、四五　後一〇、〇五
干潮　前四、三五　後三、二五



舊六月二十五日　木曜　己卯　赤口　八新　危　月十　井宿　日

▲一白　利己主義に流るゝときは人の親しみが失ふ▲二黑　元氣十分なれば萬の事通達すべき吉日たり▲三碧　英氣が現はる時は不利に陷る守成が寧ろ安全▲四綠　先へ先へと氣早りして跡の始末の付かぬ日▲五黃　氣を大きく持ち消だくあはせのむの量あるべし▲六白　障がいありとも共にたゆまず徐々と進むべき日▲七赤　小さく企てし事も生がいの基となるべき日▲八白　施し置きたる德が今日に至り廻り來るべし▲九紫　半ば手中に入たるも中途逃げ去ることあり

最新流行の
下駄と草履
ドコヨリモ安い
三井履物店
平南町　電話一八一番

御誂ひも既製品も
髙島屋洋服店
平二町電三六六

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮微科
泌尿生殖器科（婦人科性病科）
專門
白土醫院
平市字鎌田町　電二七九
（入院隨意）

看護婦及見習看護婦募集
產婦人科專門
根本醫院
平市南町
（入院隨時）
電話三四番

御婚禮
御法事
御會食
御宴會
多少に不拘是非御用命の程を
尙季節向ノ柳川料理を始メマシタ
平田町　電話一七二番
さかき家
料理部

敬神崇祖！日本精神
御靈前に
お盆提灯
供へて祖先を敬ひませう
低物價政策に順應して今度は値上げせず、お早い御註文品には絕對代用品を使用致しません。
▽是非!!!　お早く御註文願ひます
スガノヤ提灯店
平・四　電話九五番

吸入用酸素　純度99%
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体溫器　寒暖計
秤ノ取締　垂糸・修繕致シマス。
關內藥局
電話四〇番